



↑生地に麹から起こした甘酒を練り込んだ甘酒パンシリーズ。同店だけでしか味わえない人気商品だ



↑酒蔵通りの一角、くぐり門の向かいに立つ。西条は商店同士の交流も盛んなエリアだとか

→幼い頃からモノ作りが好きだったという林 直史さん。「自分の味」を目指し続けるパン作りは天職だと話す



こころん
cocoron
☎082-437-5470
map P22B8
④西条本町7-33
⑤JR西条駅から徒歩5分
⑥10～18時(売切れ次第閉店)
⑦月・火曜
⑧3台



**大学時代からの夢を
西条酒蔵通りで実現**
大学時代に出会った東広島市内の一軒のパン屋さんが、私の人生を大きく変えました。そのパンがあまりにおいしく、一年間弟子入りしたほどです。大学卒業後は自動車部品メーカーの開発者として転勤生活を送っていましたが、いつか自分でパン屋さんを開きたいという夢は持ち続けていました。そして2016年3月、東広島市の開業支援を受け、西条酒蔵通りに「cocoron」をオープンしました。今は大学時代の思い出の地で、妻とともに日々パン作りに動んでいます。



↑パン作りは早朝から始まる。「開業前も休日は自宅に家族のためにパンを焼いていたんですよ」と林 直史さん

**湧出する良質の水が
ここだけの味を生む**

この地を選んだのは水が理由です。酒蔵通りは現在も酒造りが盛んですが、酵母とミネラルが豊富なこの水は、ポーリッシュ製法と呼ばれる私のパン作りにも欠かせません。昆布を入れて約10日発酵させたその水と小麦粉で作るルヴァン(発酵種)のおかげで、ここだけ味わえない旨味のある「酒蔵のパン」を作り出しています。理想とする味に近づく努力は今も続けていますが、その試行錯誤こそ、私にとっての生きがいなのかもしれません。

**魅力あふれる東広島で
次の夢を実現したい**
日々の暮らしで、自然に恵まれた東広島に住環境のよさを実感しています。特に東広島への移住後は、子どものぜんそくの症状も改善したんですよ。また、10月の酒まつりでは、活気にあふれる町のパワーを体感。「cocoron」を知ってくださり、リピーターとなってくださるお客さまもずいぶん増えました。店を持つ夢が叶った今、これからは「自分の味」を目指しながら、家族の夢も叶えていきたいですね。それをこの場所で実現していきます。

プロフィール
**林 直史さん
早織さん**
移住前の居住地
▶京都府京都市
移住した年▶2015年
前職▶直史さん:自動車部品
メーカー開発職
早織さん:銀行員

◀「子どものためにも住環境がいい場所で暮らしたかったんです」と林さんご夫妻。二人三脚で念願のベーカリーを開業

**水に恵まれた西条だからこそ、
憧れていた夢を実現できました。**

Case 2



Case 1

**受け継いだ祖父の畑と教えて、
「おいしい」と言ってもらえる野菜を。**



↑豊かな土壌が良質のコボウを育てる。栽培に手間はかかるが、季節に左右されにくいコボウが安定経営を支える
→妻や子どもたちが週末に作業を手伝ってくれることも。「いつか子どもたちも農業に興味を持ってくれたらうれしいですね」と川手さん

**祖父が開拓した畑を
守っていききたいと決意**
「じいちゃんの畑で採れる野菜、いつもみんながおいしいって言うてくれたよな」。自動車ディーラーを退職後、ふと思い出したのが豊栄町にある祖父の畑でした。広島市から帰省した際に、「この畑はワシが最後でええ」と話す祖父の作業を手伝う中で、ビジネスとして農業の可能性に挑戦したいという思い、そして、一から開拓し、60年以上にわたって農業を続けてきた祖父の畑を守りたいという思いが、私に就農を決意させました。



**寒暖差と豊かな土壌が
おいしい野菜を作る**

当初は就農に反対していた祖父ですが、2015年に広島市から豊栄町へ移住してからは、私が本気だとわかつてもらえたようです。今は祖父や周りの農家さん、就農した先輩移住者の方々からアドバイスをもらいながら、約2haの畑でコボウなどの根菜を中心に野菜を育てています。特に「コボウは土壌が豊かだからこそよいものが収穫できます。この地の寒暖差の大きさと、祖父が大切にしていた畑が甘みのあるおいしい野菜の収穫に結びついているのです。」



↑手塩にかけた作物を出荷。農業に手応えも感じ始めている



→野菜を中心に栽培。火山灰系の黒土の土壌もおいしい理由

**家族とも充実した日々
お客さまの声に手応えも**
子どもたちは空気も自然もきれいなこの場所でのびのびと育ってくれています。市街地までは住まいのある豊栄町から車で30分。暮らしに不便さを感じたことはありませんし、移住者をはじめ、たくさんの人と知り合うことができました。今は飲食店などにも出荷し、マルシェや産直市でも出品。インターネットを通じてもお客さまに野菜をお届けでき、仕事に手応えも。「おいしい」という声をいただくたびに、祖父の教えとこの畑に誇りを感じています。

住まいについて

中心部の西条は戸建て・マンションが多く、宅地開発が進む寺家(じけ)地区には2017年3月にJR寺家駅が開業。ファミリー層にも人気です。山間部では古民家を住みやすく改築して暮らしている人もいます。

食材が安くて豊富

農家が採れたての米や野菜を販売する産直ショップが点在。生産者の顔が見える安心・安全な食材が低価格で揃います。新鮮素材のおいしさにきっとびっくりするはずですよ。



買い物は便利?

西条や主要幹線道路沿いには大型ショッピングセンターが立地。山間部や沿岸部は買い物車で移動が基本になります。駅の周辺には地元スーパーなどがあり、日常の買い物は市内で充分揃います。

通勤圏内どこまで?

JR西条駅から広島駅間、また三原駅間は各約40分。近隣市の市街地まで充分通勤圏内です。高速道路利用なら山陽自動車道西条IC～広島IC間は約20分! 呉方面なら東広島・呉自動車道も利用でき、アクセス至便です。

海あり山あり、自然に満ちた暮らしには憧れるけど、住みやすさはどうなのだろう? そんな東広島での暮らしで気になる疑問を7つのキーワードで解説します!

街と自然が一体

各駅周辺は中核都市としての機能を備え、不便なく暮らせれます。街からほど近い山間部は、鹿やイノシシといった野生の動物も多く生息してちょっぴりワイルドかも。街と自然のバランスが絶妙です。

学術研究都市

4つの大学のキャンパスがあり、産学共同の研究施設も多数あります。街は学生や留学生が多く、地域との交流を通じて新たなコミュニケーションが盛んに育まれています。



人が気さくで親しみやすい

学生や移住者への理解があり、人柄はオープンで気さくな人が多いのが東広島の特徴。地域での横のつながりを大切にしているので、祭の準備や草刈り、清掃といった地域活動を積極的に行っています。

東広島暮らしのホントのところ

ココが知りたい7つのキーワード

気になる移住定住の詳細はこちらをCHECK!

自宅からインターネットで

移住定住特設サイト **移住するなら東広島**

<http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/iju/>



就農者から飲食店経営者、大学講師、漫画家まで、東広島への移住者インタビューを豊富に掲載。移住の検討時に気になる仕事のことや、毎日の暮らしも紹介している。



窓口でしっかり相談

東広島定住サポートセンター

☎082-437-3021 map P22B8

市外から東広島市への移住・定住に関する相談窓口を2016年4月に開設。土地情報や就業サポート、空き家の活用についての相談や情報提供を行っている。

担当からひとこと

「田舎で暮らしたい」「自然の中で子育てがしたい」といった都会で暮らす30～40代の子育て世代の方がよく相談されていますよ

担当: 東広島定住サポートセンター 原田 謙蔵さん



Case 3

農園も心も「ありのまま」を求めて 今日目指し続ける理想の暮らし



↑収穫した米や野菜は産直市に出品するほか、通信販売も行っている
↑水はけのよい場所を作り、キレイに育てたニンジン。「作物が健康に育つ土作りを続けたい」と村岡さん

移住で目指したのは、農を基本とした暮らし。技術者だった私は、あるテレビ番組がきっかけで環境問題などに興味を持ち、「農」を基本とする暮らしを実践することで問題解決の道筋を探したいと思いました。知人を通じて東広島に移住。個人事業「ユニティ・デザイン」を立ち上げ、ライフスタイル提案、教材販売、コンテンツ配信の事業とともに約100坪の自然農園で野菜の自給を目指しました。その後、コンテンツ配信など一部事業を後継者に引き継ぎ、改めて農に取り組みつづける、この農園を開いたのです。

移住で目指したのは、農を基本とした暮らし



↑米や野菜を中心に、近年は果物も栽培。「メロンはとておいしかったですよ。手間はかかりますが果樹園も目指したいですね」

豊かな田舎と農園で自分らしさを
東広島に移住して10年以上。西条から車で約30分の福富町は、「道の駅湖畔の里福富(↓P9)」といった人の集まる場所もあり、水と緑に恵まれた豊かな田舎です。私のような移住者や就農者を温かく迎えてくれる、外に開かれた風土もあるように思います。農家の方々は、パン工房、喫茶店、家具工房、家造りを手伝ってくれる材木店など、みんなが自分らしさを表現しているこの町で、私も農園で自分らしさを表現していきたいと思っています。



↑「福富町は私にとって理想的な環境です」と村岡さん

農園も作物も私もありのままでありたい
多様な動植物が調和共生する農園で成長した米や野菜をいただき、種を採り、次へつなぐ。そんな「共に生きる」ことを農園のコンセプトとしています。収益を優先し、商品として野菜を作ると農業や化学肥料が必要になります。でも、それは命を育むという食べ物の本質とどこかスレがあるように思っています。作物が「ありのまま」の、のびのびと育つよう、作物と対話しながら農園を作っていくことで、私も自分のありのままを見つづけていると思います。

移住者にインタビュー!
「わたしたち、東広島に移住しました。」

プロフィール

村岡 宏治さん

移住前の居住地 ▶ 福岡県福岡市

移住した年 ▶ 2001年

前職 ▶ 電機メーカー・技術職

◀「楽しく育てた米や野菜のおいしさは、きっと食べた方々にも伝わるはず」と村岡さん

ゆにいていデザイン(ゆにいていしぜんのうえん)
ユニティ・デザイン
(ユニティ自然農園)

☎082-401-1050

URL <http://www.unity-design.jp/>